

南加瀬中学校区地域教育会議

【南加瀬中学校区地域教育会議の重点方針】

- I.校区の教育と住民自らの生涯学習について、保護者・教職員・住民の話し合いによってネットワーク化を図る。
- II.教育への市民参加の恒常化を図る。
- III.地域教育振興・発展のために活動する諸団体の連携・協力と地域の教育改革を図る。

【地域ふれあいの会】

令和5年度に実施された「地域ふれあいの会」では、スクラッチアートや起震車などもあり、昨年度よりもパワーアップした会となりました。参加した子どもたちや地域の方々が遊びを通して楽しそうにふれあう姿を見ることができました。開催にあたっては、子どもたちが楽しめるコーナーがたくさん設けられました。各コーナーでは、地域のボランティアの方々をはじめ、4校のPTAの皆様、南加瀬中学校の生徒がボランティアとして参加してくれました。小学生や幼い子どもたちにやさしく遊びを教え合いながら、ふれあいを通じて参加者から多くの「楽しかった。」という声を聞くことができました。



【子ども会議】

子ども会議では、「南加瀬中学校」「南加瀬小学校」「小倉小学校」「夢見ヶ崎小学校」の4校の代表が集まり、南加瀬中学校の生徒会の生徒中心に、活発な意見交換がされました。令和5年度の話し合いのテーマは、「はっけん！たんけん！さいはっけん！まちのじまんフェスティバル」ということで、各学校の地域の自慢を発表しました。「公園が多いこと」「小倉音頭があること」「加瀬山があること」「地域の方々との交流がたくさんあること」など、たくさんの自慢を各校発表していました。各校の発表内容をもとに、児童生徒は、気づいたことや考えたこと、抱いた思いを積極的に伝え合うことができました。

アイスブレイキングで交流してから会議をしたことで、緊張がほぐれ、終始穏やかに会議が進んでいきました。発表や交流の中で、「地域の方々に支えられている」ことが感じられ、多くの児童生徒にとって有意義な時間となりました。また、会議の最後には、地域の方からお話をいただき、子どもたちは真剣に聞いていました。他校との情報共有や地域の方々との関わり大切さについて実感する様子が見られた会議でした。



【広報誌 「元気な地域(まち)」の発行 (2回)】

地域教育会議の活動について、子ども文化センターや子ども食堂など地域の紹介、地域ふれあいの会・子ども会議の開催などの内容を中心に、発行することができました。